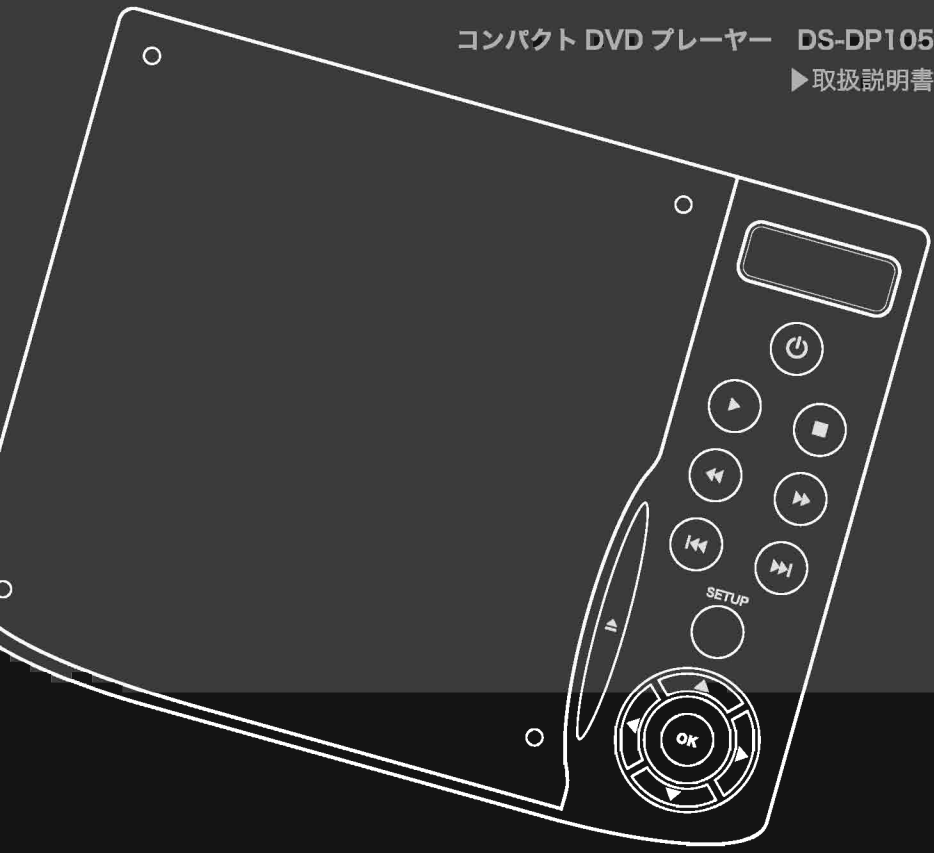
Digistance

COMPACT DVD PLAYER

コンパクト DVD プレーヤー　DS-DP105

▶取扱説明書



CREATE JACKET

目次

▶取扱説明書

はじめに **P02**
使用上の注意…… P02

第 1 章 . 本機と電源、および外部機器の接続 **P05**
①本機と電源の接続 ／ 電源の " オン〜オフ " …… P06
②本機とテレビとの接続（コンポジットでの接続）…… P06
③本機とテレビとの接続（D2 映像端子を使った接続）…… P07
④本機とスピーカーとの接続（同軸音声端子を使った接続）…… P07

第 2 章 . 本体／リモコン説明 **P09**
①本体各部名称…… P10
②本体外観の着せ替え…… P11
③リモコン各部名称・操作方法…… P12

第 3 章 . 再生時／基本操作 **P15**
① DVD 再生方法 …… P16
②音量調節…… P17
③一時停止／停止／コマ送り…… P18
④早送り／早戻し・スキップ（進／戻）…… P19
⑤リピート…… P20
⑥スロー再生…… P21
⑦ランダム再生…… P22
⑧メニュー画面／タイトル画面への移動…… P23
⑨画面への時間表示…… P24
⑩指定場面への移動（サーチ機能）…… P25
⑪指定順序での再生（プログラム機能）…… P26
⑫ズーム機能…… P27
⑬アングル切替…… P28
⑭字幕切替（サブタイトル）…… P29
⑮音声言語の切替…… P30

第 4 章 . 再生時／セットアップ **P31**
DVD 再生時の設定 …… P32
①一般設定…… P34
②音声設定…… P37
③ DOLBY デジタル設定…… P38
④映像設定…… P39
⑤初期設定…… P41

第 5 章 . 故障かな？ と思ったら **P45**
トラブルシューティング…… P46

はじめに

本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。ご使用にあたっては取扱説明書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使い下さい。また必要な時にお読み頂ける様に大切に保管して下さい。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標です。

■ DVD VIDEO マークは DVD-Video の統一マークです。
■ マークは、ビデオ CD、オーディオ CD の統一マークです。
■ドルビー、ドルビーデジタル、DOLBY およびダブル D 記号 DD マークはドルビーラボラトリーズ社の登録商標です。

正しくお使いいただくためのご注意

【DVD・CD 再生についてのご注意】

●本製品ではコンパクトディスク（CD）規格に準拠していない著作権保護技術付きの市販されている音楽ディスク、またはコピーコントロール CD につきましては動作、音質を保証できません。本製品での再生にあたりましては、音楽ディスクのパッケージの表示をよくお読み下さい。
●テレビで放映された画像やビデオソフトを営利目的、または公衆に視聴させる事を目的として画面の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますのでご注意下さい。
● CD-R/RW、DVD-R/RW のご使用に際しましては、ディスクまたはレコーダー等の作成機器等の互換性や記録状態や、記録状況によって再生できない場合があり、全てのディスクの再生を保証するものではありません。
● DVD レコーダーやパソコン等でご自身で録画・作成した DVD-R を使用する際、互換性により再生できない場合があります。また、VR モードで作成したものや、ファイナライズを行っていないディスクには対応しておりません。これらの動作保証と、起因する損害および逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
※レコーダーにはビデオ (DVD-Video) モードと VR モードの記録方式があり、ビデオモードは市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。VR モードはビデオレコーディングフォーマットで、多彩な録画編集機能が特徴ですが、VR 方式に対応した機器でのみ再生可能です。
●本機は、クラス 1 レーザー製品に分類されています。クラス 1 レーザー製品のラベルは、本プレーヤー背面に添付されています。

●リージョンコード

DVD ソフト及びプレーヤーには、市場シェアを守る目的からリージョンコードという規格が設定されています。DVD ソフトとプレーヤー両者のリージョンコードが一致しなければ、ソフトを再生することができません。

※注意：本製品のリージョンコードは「2」です。「2」以外の DVD ソフトは再生されません。

リージョン 1	アメリカ・カナダ
リージョン 2	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン 3	東アジア・東南アジア・香港
リージョン 4	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン 5	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン 6	中国

使用上のご注意

●プレーヤー本体に強い衝撃を与えないで下さい。
●本製品には小さい部品が含まれております。幼いお子様などがご使用になられる場合は、必ず保護者の方が同伴して下さい。
●使用後はコンセントを抜いて下さい。長時間コンセントを差した状態で放置すると、故障の原因となる場合があります。
●不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、直射日光の当たる場所などに長時間放置しないで下さい。また、上記のような環境や、車中に置き去りにしたことが原因で発生する故障や事故については、保証の対象外となります。
●静電気の起こりやすい場所で使用しないで下さい。
●本体、または電源アダプターの分解や解体はしないで下さい。

●本製品は無線周波を放射する為、他のオーディオ機器等の電波妨害を引き起こす恐れがあります。その場合は電源を切り、コンセントを抜いて下さい。対処法としては本機または他のオーディオ機器の配置、もしくはコンセントの差し込み位置を変えて下さい。また、それぞれのオーディオ機器との距離をとることも効果的です。

あらかじめご了承いただきたいこと

●本書の内容、本製品の仕様・外観・価格等については、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡下さい。
●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断ではご使用できません。
●万一、本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用としてのご使用には対応致しておりません。
●お客様が他社に依頼して行った設置工事による不具合や、工事費用等について当社では一切の責任を負えません。
●保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等は当社では一切の責任を負えませんので予めご了承下さい。

ご使用いただく前に・・・

セット内容をご確認下さい

付属品が全てそろっているかをご確認下さい。もし、これらの付属品がそろっていない場合はお買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

プレーヤー本体	専用リモコン	音声・映像ケーブル	AC アダプター	イヤホン
六角レンチ	着せ替え用台紙 x3 枚	型抜き用台紙	取扱説明書／保証書	

※型抜き用台紙について…
工場出荷時は本書 P11 記載のプレーヤー本体の透明板の下にはさんであります。必要なときは、P11 をご覧頂き、ねじをゆるめて取り出して下さい。

第1章

本機と電源、および外部機器の接続

①本機と電源の接続／電源の " オン〜オフ "

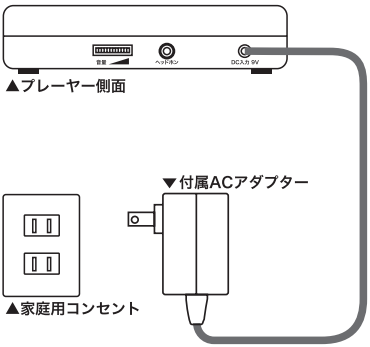
②本機とテレビとの接続（コンポジットでの接続）

③本機とテレビとの接続（D2- 映像端子を使った接続）

④本機とスピーカーとの接続（同軸音声端子を使った接続）

1. 本機と電源、および外部機器の接続

①本機と電源の接続 ／ 電源の " オン〜オフ "

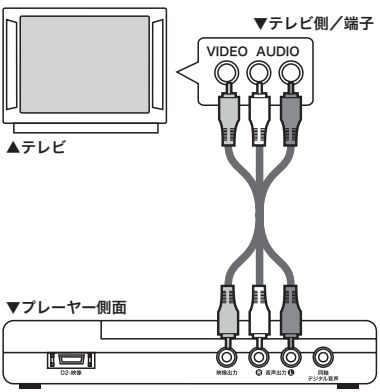


本機と電源の接続には、本機側面にある**「DC 入力 9V」**端子に付属の**「AC アダプター」**をつなぎ、家庭用コンセントに差し込んで下さい。

※ AC アダプターに関する注意

本機の電源供給には、必ず付属の AC アダプターをご使用下さい。その他のアダプターをご使用になり発生した事故等については、保証の対象外となります、ご注意下さい。

②本機とテレビとの接続（コンポジットでの接続）

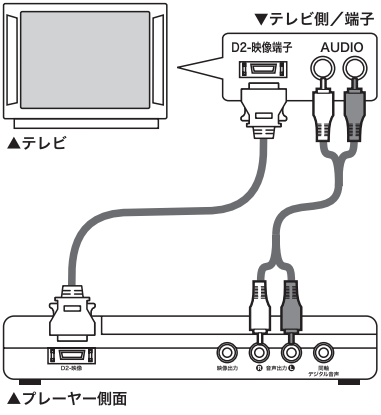


本機とテレビとの接続の中で、もっとも一般的な接続方法です。接続には付属の**「音声･映像ケーブル」**を使用します。

※音声・映像ケーブル

「音声･映像ケーブル」については、本製品に付属します。
コンポジットでの接続以外のものは、別途ケーブルをご用意して頂く必要があります。

③本機とテレビとの接続（D2 映像端子を使った接続）



テレビ側に**「D2 映像端子」**が備わっている場合に可能な接続方法です。

本接続は②のコンポジットでの接続に比べ、より鮮明な映像をご覧頂けます。

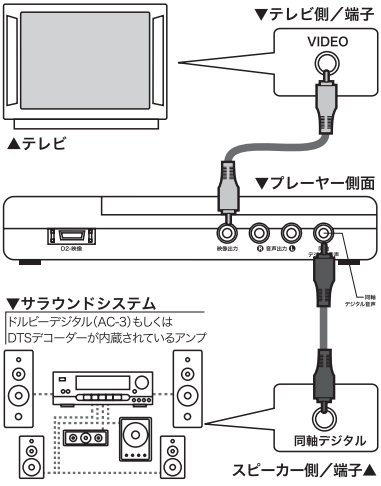
本接続に用いる**「D2 映像ケーブル」**は付属しません。別途、ご用意下さい。

※ D2 映像ケーブル

「D2 映像ケーブル」については、本製品には付属しません。

本接続にあたり、別途ケーブルをご用意して頂く必要があります。

④本機とスピーカーとの接続（同軸音声端子を使った接続）



左下図のようなサラウンドシステムに**「同軸デジタル音声端子」**を用い、接続する方法です。

本接続は②のコンポジットでの接続に比べ、より上質な音声でご覧頂けます。

本接続に用いる**「同軸デジタル音声ケーブル」**は付属しません。別途、ご用意下さい。

※同軸デジタル音声ケーブル

「同軸デジタル音声ケーブル」については、本製品には付属しません。

本接続にあたり、別途ケーブルをご用意して頂く必要があります。

第2章

本体／リモコン説明

①本体各部名称

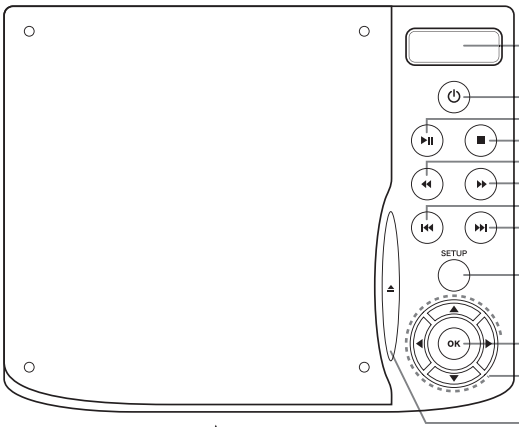
②本体外観の着せ替え

③リモコン各部名称・操作方法

2. 本体／リモコン説明

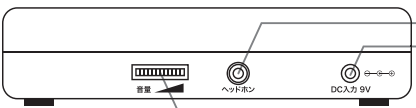
①本体各部名称

本体正面



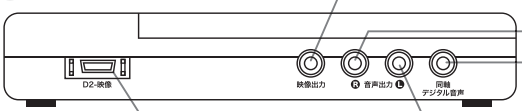
1. ディスプレイ
2. 電源ボタン
3. 再生(一時停止)ボタン
4. 停止ボタン
5. 早戻しボタン
6. 早送りボタン
7. スキップ(戻)ボタン
8. スキップ(進)ボタン
9. セットアップボタン
10. 決定(OK)ボタン
11. 方向ボタン
12. ディスクトレイ オープンボタン

本体側面 -A



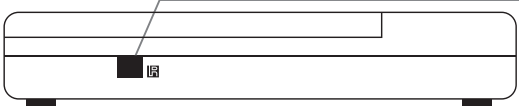
13. ヘッドホン端子
14. DC入力 9V端子
15. ヘッドホン出力専用 音量ノブ (小⇔大) ※1

本体側面 -B



16. 映像出力端子
17. 音声出力端子-R
18. 同軸デジタル 音声端子
19. 音声出力端子-L
20. D2映像端子

本体側面 -C



21. リモコン受信部

※1：プレーヤー本体にある「音量ノブ」での音量調節は、ヘッドホン出力専用のものです。ヘッドホン以外の音声出力の場合は、本機のリモコン、および接続しているテレビや外部機器の音量調節をお使い下さい。

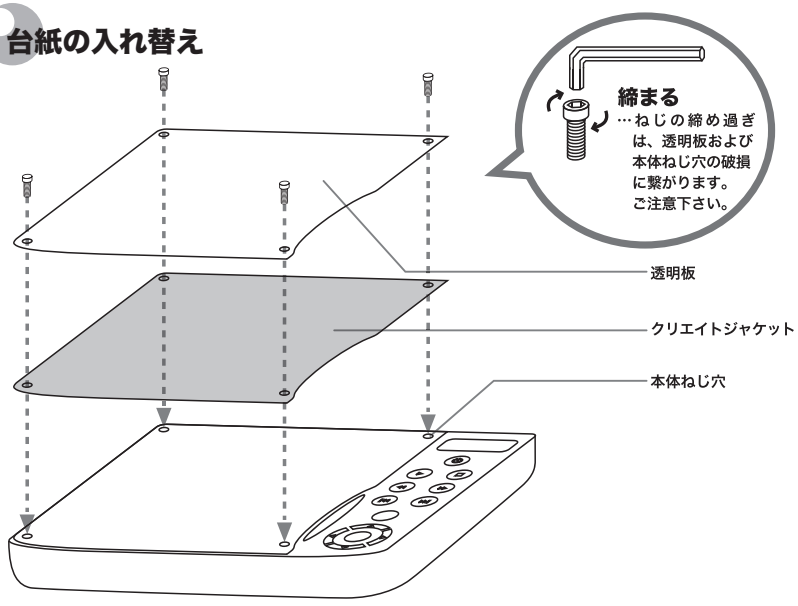
②本体外観の着せ替え

本機はクリエイトジャケット（本体カバー）の入れ替えによって、簡単にお好みの外観に変更することができます。

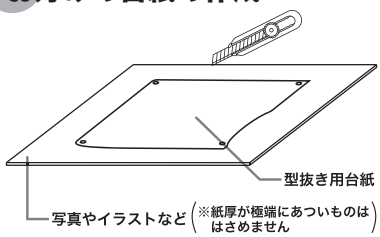
デジカメで撮影した写真や、お気に入りのイラストなどを付属の型抜き用台紙にあわせて切り抜くことで、簡単にクリエイトジャケットを作成することができます。

また、弊社のホームページでも PDF 形式の着せ替え台紙を配信しています。用途や、インテリアに合わせて、お好みの外観に仕上げて下さい。

台紙の入れ替え



お好みの台紙の作成



付属の " 型抜き用台紙 " に合わせて、お好みの写真やイラストなどを切り抜いて下さい。

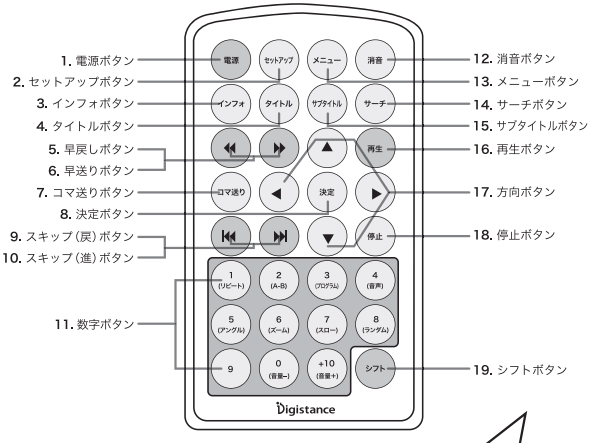
なお、切り抜き作業時は刃物等に十分注意して行って下さい。

インターネット上で、PDF 形式の着せ替え用台紙の配信を行っています。ご家庭のプリンタで打ち出し、付属の型抜き用台紙に合わせて切り抜いてお使い下さい。

▶弊社ホームページアドレス　http://www.zox-net.com

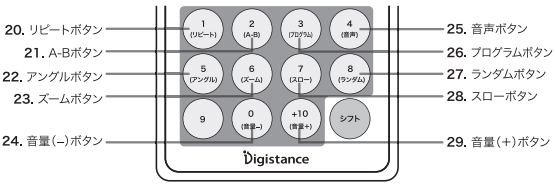
2. 本体／リモコン説明

③リモコン各部名称・操作方法

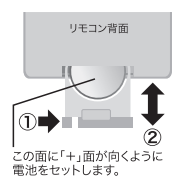


■シフトボタンを用いた操作

シフトボタンを押してモードを切替え、" シフトモード - オン " の状態で数字ボタン（1 ～ 8・0・＋ 10）を押すとボタン機能が変更されます。シフトボタンによる機能の変更は以下の通りです。
※シフトモードのオン／オフは画面左上に表示され、シフトボタンを押す度にオン／オフが切り替わります。
※ 22. アングルボタン、25. 音声ボタンはディスクの仕様によっては対応できません。



リモコン用電池の装着方法と注意



電池ケースを取り出す場合は、リモコン背面にある電池ケースの先端部分を①の矢印方向に押した後、②方向に引き抜いて下さい。取付け時は電池の向きを確認し、そのまま押し込んで下さい。

◎使用する電池はボタン型リチウム電池(CR2025)です。電池を入れる際「+」と「−」の向きを確認し、正しい向きでセットして下さい。
◎長時間使用しない場合は電池を取り外して下さい。
◎付属のリモコン用電池は、動作確認用です。通常ご使用になるものについては、別途ご用意下さい。

	ボタン名称	リモコンボタンの機能説明	掲載ページ
1	電源ボタン	電源のオン／オフの切替えを行います。	P16
2	セットアップボタン	セットアップ画面を表示し、各種設定を行います。	P31
3	インフォボタン	画面にインフォ画面が開き、ディスクの経過時間や残り時間の表示を行います。	P24
4	タイトルボタン	DVD 再生時にディスクのタイトル画面を表示します。 ※1	P23
5	早戻しボタン	早戻しを行います。ボタンを押す度に早戻し速度が変わります。	P19
6	早送りボタン	早送りを行います。ボタンを押す度に早送り速度が変わります。	P19
7	コマ送りボタン	DVD 再生時にボタンを連続で押すとコマ送りを行います。	P18
8	決定ボタン	セットアップ画面やメニュー画面の項目の " 選択 " や " 決定 " を行います。	P32
9	スキップ(戻)ボタン	DVD 再生時:チャプターのスキップ（戻）を行います。CD 再生時:トラックのスキップ（戻）を行います。	P19
10	スキップ(進)ボタン	DVD 再生時:チャプターのスキップ（進）を行います。CD 再生時:トラックのスキップ（進）を行います。	P19
11	数字ボタン	各種設定の数値入力等に使用します。また、「シフトボタン」とあわせて使用することで別の機能に切り替ります。	P12
12	消音ボタン	音量をゼロにします。再度、消音ボタンを押すことで元の音量に戻ります。	P17
13	メニューボタン	DVD 再生時にディスクメニュー画面を開きます。 ※1	P23
14	サーチボタン	画面にサーチ画面が表示されます。チャプターや時間を入力することにより、指定の場面からの再生が行えます。	P25
15	サブタイトルボタン	DVD 再生時に字幕言語の切替えを行います。ディスクのメニュー設定や、本機のセットアップと合わせて使用して下さい。※操作はディスクメニューの設定に準じます。 ※1	P29
16	再生ボタン	DVD・CD の再生を行います。また、各種設定の決定の際にも使用します。	P16
17	方向ボタン	セットアップ画面等で、項目の選択に使用します。	P32
18	停止ボタン	再生中に、停止を 1 回押した場合はその場面を保って停止状態となります（一旦停止）。停止ボタンを 2 回押すと完全に停止します。	P18
19	シフトボタン	" 数字ボタン 1 ～ 8・0・＋ 10" のボタン効果の切替えを行います。「シフトボタン」を押すごとにシフトモードオン／オフの切り替えが行えます。 ※シフトモードのオン・オフは画面左上に表示されます。	P12
20	リピートボタン	再生時にリピート再生を行います。「リピートボタン」を押す度に繰り返しモードが切り替わります。	P20
21	A-B ボタン	指定範囲のリピート再生を行います。" 繰り返し開始地点:A" と " 繰り返し終了地点:B" を指定し、その範囲で繰り返し再生を行います。	P20
22	アングルボタン	画面にアングルマークが表示され、アングル機能付きの DVD ディスクを再生時に、ボタンを押すごとにアングルが切り替ります。 ※アングル機能付きのディスクでもディスクの仕様により対応できない場合があります。	P28
23	ズームボタン	DVD 再生時、映像表示の拡大を行います。ボタンを押す度に、拡大倍率が変わります。	P27
24	音量 (–) ボタン	再生音量を下げます。	P17
25	音声ボタン	音声言語の切り替えを行います。ディスクのメニュー設定や、本体のセットアップと合わせて使用して下さい。※操作はディスクメニューの設定に準じます。 ※1	P30
26	プログラムボタン	プログラム画面が表示され、プログラムを作成することにより再生する順番をお好みで指定し、再生することができます。	P26
27	ランダムボタン	再生順序を入れ換え、ランダムに再生します（再生順序の指定はできません）。	P22
28	スローボタン	DVD 再生時にスロー再生を行います。ボタンを押す度に再生速度が切り替ります。	P21
29	音量 (+) ボタン	再生音量を上げます。	P17

※1：ディスクの仕様により、対応できないものもあります。

第3章

再生時／基本操作

① DVD 再生方法

②音量調節

③一時停止／停止／コマ送り

④早送り／早戻し・スキップ（進／戻）

⑤リピート

⑥スロー再生

⑦ランダム再生

⑧メニュー画面／タイトル画面への移動

⑨画面への時間表示

⑩指定場面への移動（サーチ機能）

⑪指定順序での再生（プログラム機能）

⑫ズーム機能

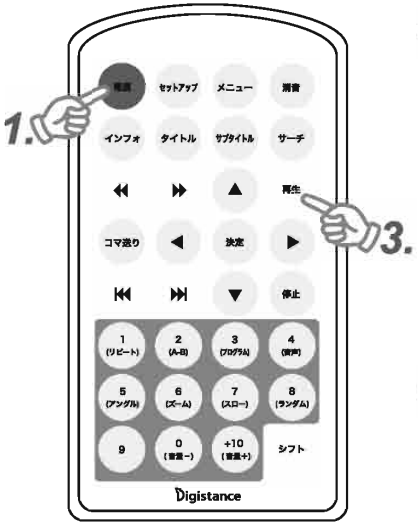
⑬アングル切替

⑭字幕切替（サブタイトル）

⑮音声言語の切替

3. 再生時／基本操作

① DVD 再生方法



1. 本体を起動させる

本書、前半ページ（P3 ～）の " 本体と外部機器の接続 " を終えてから、本体もしくはリモコンの**「電源ボタン」**で電源を入れて下さい。

なお、電源を入れる際は予め接続テレビ等の音量を小さめにセットしておいて下さい。

※注意／ピックアップカバー

本機をはじめてご使用になる際、ピックアップ部に**" 保護用のカバー "** が付いています。DVD ディスクをセットする前に、必ず取り外して下さい。

2. ディスクトレイの開閉

本体の**「ディスクトレイオープンボタン」**を押しディスクトレイを開け、本機にディスクをセットします。ディスクトレイを閉じると、自動でディスクの読み込みを開始します。

※本機を初めて使用する場合はピックアップ部に保護用のカバーが付いています。ディスクのセットは、カバーを取り外した後に行って下さい（本ページ左下図を参照）。

3. ディスクの再生 ※ 1

基本的にはディスクトレイを閉じると、自動的にディスク読み込みが開始します。読み込みが始まらない場合は**「再生ボタン」**を押し、ディスクを読み込みます。

読み込みを開始すると DVD ディスクの場合は、" ディスクメニュー画面 " が表示されるので、画面の内容に従って操作して下さい。

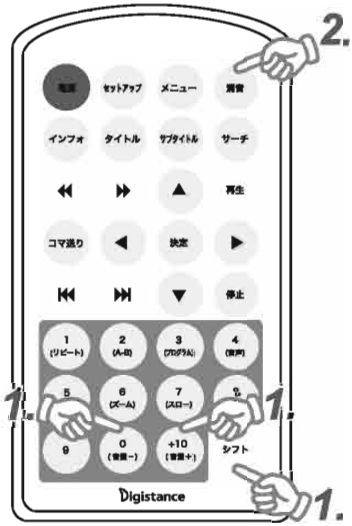
■使用後は…

本体もしくはリモコンの**「停止ボタン」**を押し、ディスクの回転が完全に停止したらディスクを取り出し、本体もしくはリモコンの**「電源ボタン」**で電源を " オフ " にして下さい。

長時間使用しない場合は電源（AC アダプター）を外して下さい。

※ 1：再生にあたり、ディスクに関する注意事項・リージョンコードの一致などについてご確認下さい。本製品はリージョン 2 以外のディスクは再生できません。詳しくは、P02 をお読み下さい。

②音量調節



1. 音量調節方法

ディスク再生中の音量調節（大～小）に関する説明です。

操作方法は、まず**「シフトボタン」**を押し、"シフトモード／オン"に切り替えます。この状態で**「音量ボタン（数字の"0・＋10"ボタン）」**を押すと音量調節が行えます。

※シフトモード

音量調節を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で"シフトモードオン"に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページP12～13をお読み下さい。

2. 消音（ミュート）機能

ディスク再生中の音量を"一時的に消音"状態にします。

操作方法は、リモコン右上の**「消音ボタン」**を押すことにより"音量ゼロ"の状態になります。

消音を解除したい場合は、再度**「消音ボタン」**を押す、もしくはリモコンによる音量調節を行うと、通常の音声出力に戻ります。

■音量調節における注意

"再生中に音が出ない"などの症状について…

リモコンによる音量の調節は"00～20"まで可能です。

上記調節に加えて…

①"プレーヤー本体の音量ノブ"による調整（ヘッドホン出力の場合のみ有効）

②"本機リモコンの「消音ボタン」"によるミュート機能

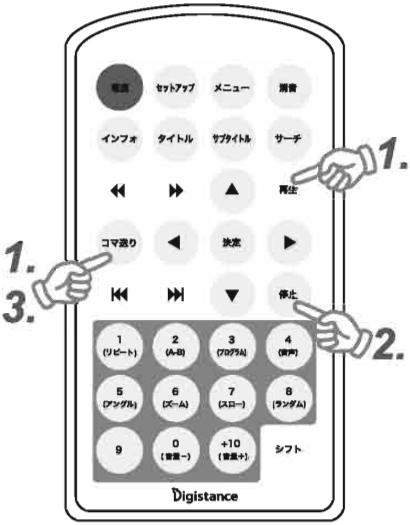
③"出力するテレビや、ディスプレイの音量"による調節

④"本機とその他機器の接続"における断線や、出力設定の相違

…等があり、"音が出ない"症状については以上の①～④が原因であることが考えられます。

音量に違和感を感じるときは、上記①～④を確認して下さい。

③一時停止／停止／コマ送り



1. 一時停止の操作

●「再生ボタン」・「コマ送りボタン」による一時停止

ディスク再生中、その場面を保持したまま一時的にディスク再生を＂停止＂状態にします。一時停止を解除すると、また元の場面から再生が始まります。

操作方法は、再生中に本体の**「再生／一時停止ボタン」**、もしくはリモコンの**「コマ送りボタン」**を押すと、一時停止状態になります。この状態で**「再生ボタン」**を押すと一時停止が解除されます。

2. 停止の操作

●「停止ボタン」による一時停止と停止

ディスク再生を＂停止＂状態にします。停止した場所からの再生が可能なものと、完全な停止とがあります。

操作方法は、再生中に本体、もしくはリモコンの**「停止ボタン」**を押す回数によって停止機能が切り替わります。

■「停止ボタン」を押す回数による停止機能の違い

◎１回押す：

再生が停止し、画面にはブルーバックの待機画面が表示されます。**「再生ボタン」**を押すと、停止した場面から再生します。

◎２回押す：

ディスクが完全に停止します。**「再生ボタン」**を押すと、一番始めの場面から読み込み始めます。

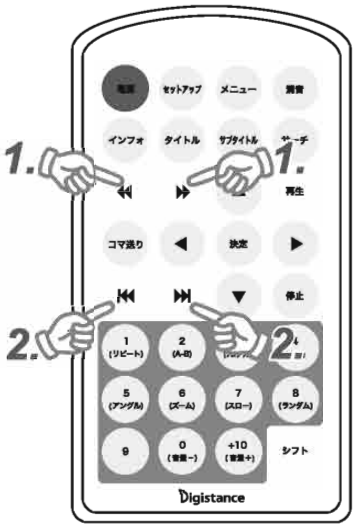
3. コマ送り操作

ディスク再生中に＂コマ送り再生＂を行います。

操作方法は、リモコンの**「コマ送りボタン」**を１回押すと、＂一時停止＂状態になります。その後は**「コマ送りボタン」**を押す度に、再生画面がコマ送りで進みます。

解除したい場合は**「再生ボタン」**を押すと、通常の再生に戻ります。

④早送り／早戻し・スキップ（進／戻）



1. 早送り／早戻し操作

本体およびリモコンの**「早送り／早戻しボタン」**で " 早送り／早戻し再生 " を行います。

ボタンを押す回数により早送り／早戻し速度が切り替わります。

また、操作中に**「再生ボタン」**を押すと早送り／早戻し再生が解除されます。

■「早送り／早戻しボタン」を押す回数による機能の違い

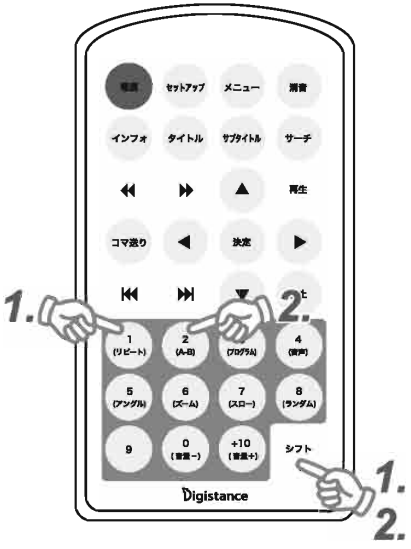
ボタンを押すごとに **"×2 → ×4 → ×8 → ×16 → ×32 →通常再生に戻る "** のように切り替わります。

2. スキップ（進／戻）操作

本体およびリモコンの**「スキップ進（戻）ボタン」**で次（前）チャプターに進み（戻り）ます。

CD 再生時は操作方法は同様で**「スキップ進（戻）ボタン」**を押すと、次（前）の曲に進み（戻り）ます。

⑤リピート



■「リピートボタン」を押す回数による機能の違い

「リピートボタン」を押すごとに**"チャプター（リピート）→タイトル（リピート）→全て（リピート）→通常再生に戻る"**のように切り替わります。

※シフトモード

リピート操作を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で"シフトモードオン"に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページP12～13をお読み下さい。

1. リピート操作

●「リピートボタン」による繰り返し再生

ディスク再生中に、各種繰り返し再生を行います。

操作方法は**「シフトボタン」**を押し、"シフトモード"に切り替えます。シフトモード／オンの状態で**「リピートボタン（数字の"1"ボタン）」**を押すとリピート再生が始まります。

「リピートボタン」を押す回数により、3つの繰り返し再生モードが順に切り替わります（CD再生時の繰り返しモードは"トラックリピート"と"オールリピート"の2種類）。

2. ABリピート操作

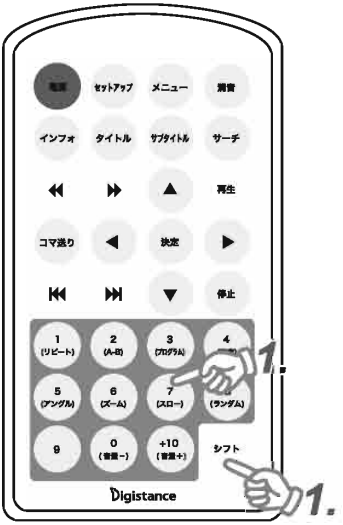
●「A-Bボタン」による繰り返し再生

ディスク再生中に、A（始点）～B（終点）間で指定した場面の繰り返し再生を行います。

操作方法は"シフトモード／オン"に切り替えた後、**「A-Bボタン（数字の"2"ボタン）」**を一回押すと"A（始点）"の指定、もう一回押すと"B（終点）"が指定され、指定したA-B間の繰り返し再生が行われます。

繰り返し再生を解除するには、もう一度**「A-Bボタン」**を押すことで通常の再生に戻ります。

⑥スロー再生



1. スロー再生操作

ディスク再生中、リモコンの**「スローボタン（数字の"7"ボタン）」**で"スロー再生"を行います。

操作方法は**「シフトボタン」**を押し、"シフトモード"に切り替えます。シフトモード／オンの状態で**「スローボタン（数字の"7"ボタン）」**を押すとスロー再生が始まります。ボタンを押す回数によって、スロー再生速度が切り替わります。

スロー再生の解除には**「スローボタン」**を５回押す、もしくは**「再生ボタン」**を押して下さい。

■「スローボタン」を押す回数による機能の違い

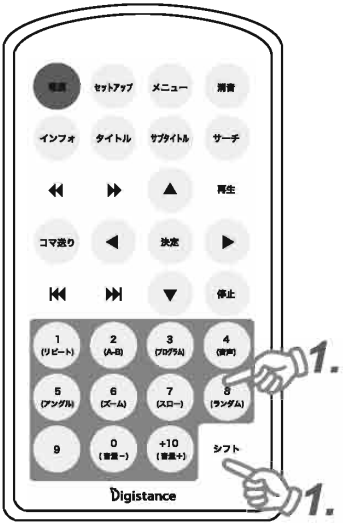
「スローボタン」を押すごとにスロー再生速度が**"×1／2→×1／4→×1／8→×1／16→通常再生に戻る"**のように切り替わります。

※シフトモード

スロー再生操作を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で"シフトモードオン"に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページP12～13をお読み下さい。

⑦ランダム再生



1. ランダム再生操作

ディスク再生中、リモコンの**「ランダムボタン（数字の "8" ボタン）」**で再生順序をバラバラに並び替え " ランダム再生 " を行います。

操作方法は**「シフトボタン」**を押し、" シフトモードオン " に切り替えます。シフトモード／オンの状態で**「ランダムボタン（数字の "8" ボタン）」**を押すとランダム再生が始まります。

「ランダムボタン」をもう一度押すことで、ランダム再生は解除され、通常再生に戻ります。また**「停止ボタン」**・**「メニューボタン」**・**「タイトルボタン」**でディスク再生を一旦中断しても、ランダム再生は解除されます。

※シフトモード

ランダム再生操作を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で " シフトモードオン " に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページ P12 ～ 13 をお読み下さい。

⑧メニュー画面／タイトル画面への移動

1. メニュー画面への移動

ディスク再生中、リモコンの**「メニューボタン」**を押すことで、再生ディスクの"メニュー画面"に移動することができます。

※ディスクによっては対応できません。

2. タイトル画面への移動

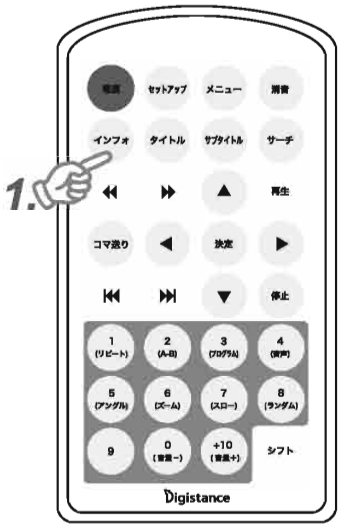
ディスク再生中、リモコンの**「タイトルボタン」**を押すことで、再生ディスクの"タイトル画面"に移動することができます。

※ディスクによっては対応できません。

■タイトル画面／メニュー画面について

DVDディスクのタイトル画面／メニュー画面とは、通常「チャプター再生や言語選択、特典、本編再生」などが表示、操作できる画面のことを差します。

⑨画面への時間表示



1. 時間表示

●「インフォボタン」による操作

ディスク再生中、画面上に経過時間などを表示することができます。

操作方法は、ディスク再生中に**「インフォボタン」**を押すと、画面上に＂現在のタイトル・チャプター＂と＂経過時間＂が表示されます（下図／※）。

経過時間の表示は**「インフォボタン」**を押すごとに以下のように切り替ります。

■「インフォボタン」を押す回数による表示切替

◎１回押す：
タイトル経過（時間）の表示

◎２回押す：
タイトル残り（時間）の表示

◎３回押す：
チャプター経過（時間）の表示

◎４回押す：
チャプター残り（時間）の表示

◎５回押す：
時間表示なし

※画面に表示される＂インフォ画面＂

「インフォボタン」を押すと、以下のような表示が現れます。

タイトル経過
Tt 01／22　Ch 02／33
0:12:37

⑩指定場面への移動（サーチ機能）

1. サーチ機能

●「サーチボタン」による操作

ディスク再生中、チャプターや時間を指定することで任意の場面から再生することができます。

操作方法は、ディスク再生中に**「サーチボタン」**を押すと、画面上に（下図／※）に示す入力欄が表示されます。入力欄に**「数字ボタン」**で数字入力を行うと、指定場面からの再生が始まります。

入力欄の表示は**「サーチボタン」**を押すごとに、以下のように切り替ります。

■「サーチボタン」を押す回数による表示切替

◎１回押す：
" チャプター指定 " 入力欄の表示

◎２回押す：
" タイトル時間指定 " 入力欄の表示

◎３回押す：
" チャプター時間指定 " 入力欄の表示

※画面に表示される " サーチ画面 "

「サーチボタン」を押すと、以下のような表示が現れます。

TT01／22　CH ■■／22
…もしくは…
TT01／22　TIME ■：■■：■■

⑪指定順序での再生（プログラム機能）

■" プログラム画面 " での操作方法

◎**「方向ボタン」**…入力欄の移動
◎**「数字ボタン」**…数字入力
◎**「決定ボタン」**…確定

プログラム順番指定は、最大で "20 番目 " まで指定できます。

画面左上から順に、お好みのタイトル・チャプター数を入力後、画面下部に現れる " 開始 " マークを選ぶとプログラム再生が始まります。

プログラム再生を中止するには、プログラム画面を表示させ " 停止 " を選択後、**「決定ボタン」**を押します。

1. プログラム操作

●「プログラムボタン」による操作

ディスク再生中、" プログラム指定 " することにより、お好みの順序で再生することができます。

操作方法は、まず**「シフトボタン」**を押し " シフトモードオン " に切り替えます。この状態で**「プログラムボタン（数字の "3" ボタン）」**を押すとプログラム画面（下図）が表示されます。プログラム画面内での操作は、以下の通りです。

※画面に表示される " プログラム画面 "

「プログラムボタン」を押すと、以下のような表示が現れます。

01	Tt:	ch:	06	Tt:	ch:
02	Tt:	ch:	07	Tt:	ch:
03	Tt:	ch:	08	Tt:	ch:
04	Tt:	ch:	09	Tt:	ch:
05	Tt:	ch:	10	Tt:	ch:
		終了			次へ

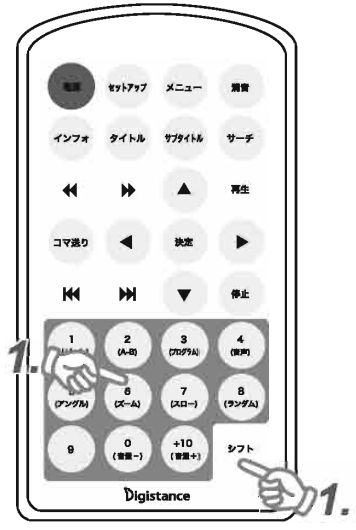
(注)この画面は、タイトルが複数あるディスクのものです。

※シフトモード

プログラム操作を行うには、リモコン右下にある**「シフトボタン」**で " シフトモードオン " に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページ P12 ～ 13 をお読み下さい。

⑫ズーム機能



1. ズーム（拡大）操作

ディスク再生中、リモコンの**「ズームボタン（数字の "6" ボタン）」**で " 再生映像の倍率変更（拡大）" が行えます。

操作方法は**「シフトボタン」**を押し、" シフトモードオン " に切り替えます。シフトモード／オンの状態で**「ズームボタン（数字の "6" ボタン）」**を押すと映像表示倍率が変化します。

「ズームボタン」を押すごとに倍率が切り替わります。また、ズーム中に「方向ボタン」で表示領域を上下左右に移動できます。

■「ズームボタン」を押す回数による機能の変化

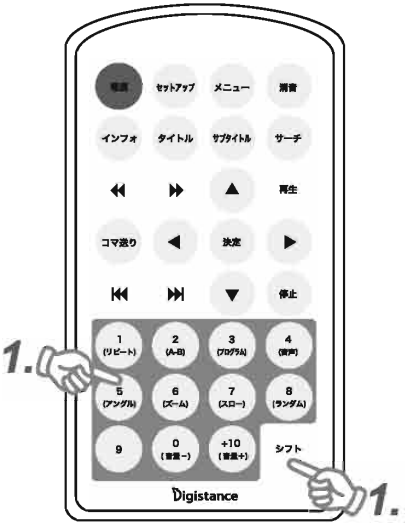
◎１回押す：
表示倍率が２倍になります。
◎２回押す：
表示倍率が３倍になります。
◎３回押す：
表示倍率が４倍になります。
◎４回押す：
通常の倍率に戻ります。

※シフトモード

ズーム操作を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で " シフトモードオン " に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページ P12 ～ 13 をお読み下さい。

⑬アングル切替



1. アングル切替

" アングル機能付きディスク " 再生中、リモコンの**「アングルボタン（数字の "5" ボタン）」**で " 再生アングルの切替 " が行えます。

操作方法は**「シフトボタン」**を押し、" シフトモードオン " に切り替えます。この状態で**「アングルボタン（数字の "5" ボタン）」**を押すと再生アングルが切り替ります。

「アングルボタン」を押すごとに再生アングルが切り替わります。

※アングル機能に関する " 注意 "

アングル機能の切り替えは **" アングル機能付きディスク "** の再生時のみ有効な操作です。アングル機能を搭載していないディスクでアングル切替操作を行っても、何も起こりません。

詳しくは、再生 DVD の取扱説明書をご覧下さい。

※アングルマーク

アングル機能の切替時、画面にはアングル操作を示す " アングルマーク " が表示されます。

画面へのアングルマークの表示／非表示については、「セットアップボタン」で表示される " 一般設定 " から変更が行えます。

詳しくは、本書 P34 ～の一般設定ページをお読み下さい。

※シフトモード

アングル切替操作を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で " シフトモードオン " に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページ P12 ～ 13 をお読み下さい。

⑭字幕切替（サブタイトル）

1. 字幕表示切替

●「サブタイトルボタン」による操作

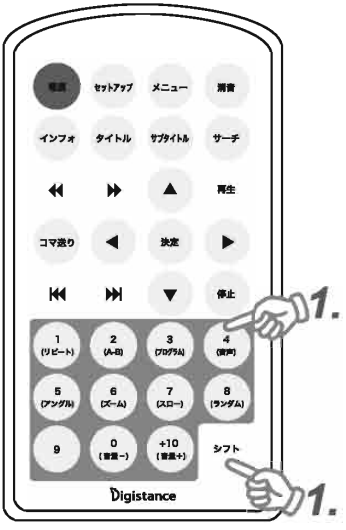
ディスク再生中、＂字幕＂の選択、および表示／非表示を切り替えます。

操作方法は**「サブタイトルボタン」**を押すごとに字幕言語が切り替わり、最後に＂字幕オフ＂に切り替わります。

※字幕切替に関する＂注意＂

字幕の変更、及び表示は再生ディスクのメニュー画面中の設定に準拠する場合が多く、ディスクの仕様によっては「サブタイトルボタン」による切り替えが行えないものもあります。

⑮音声言語の切替



1. 音声言語切替

ディスク再生中、出力する音声言語の切り替えを行います。

操作方法は**「シフトボタン」**を押し、"シフトモード"に切り替えます。シフトモード／オンの状態で**「音声ボタン(数字の"4"ボタン)」**を押すと、音声言語を切り替えることができます。

「音声ボタン」を押すごとに音声言語が切り替わります。

※シフトモード

音声言語切り替え操作を行うにはリモコン右下にある**「シフトボタン」**で"シフトモードオン"に切り替える必要があります。

シフトモードのオン／オフについては、リモコン説明ページP12～13をお読み下さい。

※音声言語切替に関する"注意"

音声言語の変更は、再生ディスクのメニュー画面中の設定に準拠する場合が多く、ディスクの仕様によっては「音声ボタン」による切替が行えないものもあります。

第4章

再生時／セットアップ

・DVD 再生時の設定

①システム設定

②言語設定

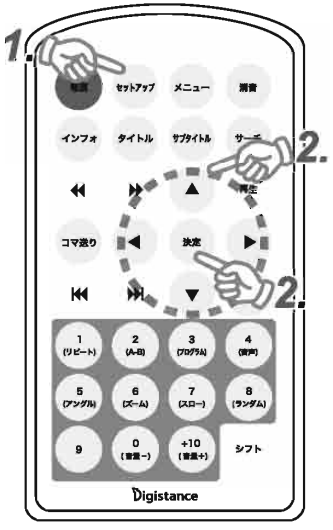
③オーディオ設定

④ビデオ設定

⑤デジタル設定

4. 再生時／セットアップ

DVD 再生時の設定（セットアップボタンにより表示）



1. セットアップ画面の表示

本機電源を入れた状態で**「セットアップボタン」**を押すと、右ページの**"セットアップ画面"**が表示されます。この画面より、本プレイヤー使用時の各種の設定を変更することができます。

※再度**「セットアップボタン」**を押すと、元の画面に戻ります。

2. セットアップ画面内の操作

セットアップ画面内でのリモコン操作は、主に"選択項目の切り替えに**「方向ボタン」**"と"項目の確定に**「決定ボタン」**"を使用します。上記の２つのボタンを使い、下図セットアップ画面内の"A→B→Cの順"に項目を選択し切り替えます。

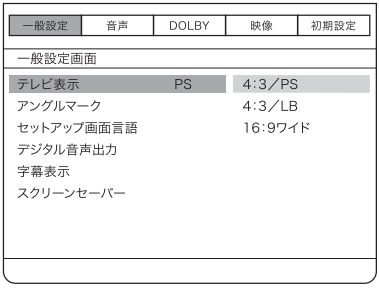
※セットアップ画面内で、選択状態にある項目は"A部分は黄色"、"B～C部分は緑色"に表示されます。

〈セットアップ画面〉

※A～B～C間の移動操作について

- **A～B間…**
  「方向ボタン」の**"下"**でA→Bへ、**"左"**でB→Aへ移動します。
- **B～C間…**
  「方向ボタン」の**"右"**でB→Cへ、**"左"**でC→Bへ移動します。

セットアップ画面〜設定項目の紹介



〈セットアップ画面〉

下記の５種類の項目に関して、設定の変更が可能です。各設定画面内での操作内容は、各々のページをご覧下さい。

①一般設定 P34〜
→主に、本体システムに関する設定を行います。

②音声設定 P37〜
→主に、音声出力に関する設定を行います。

③ DOLBY デジタル設定 P38〜
→主に、外部接続による音声出力に関する設定を行います。

④映像設定 P39〜
→主に、映像出力に関する設定を行います。

⑤初期設定 P41〜
→一般設定項目以外の、その他システムに関する設定を行います。

※注意〜初期設定について

上記⑤の " 初期設定 " について、ディスク再生中は選択・操作ができません。設定が必要なときは、**「停止ボタン」**でディスクの回転を止めた後、操作を行って下さい。

4. 再生時／セットアップ

①一般設定

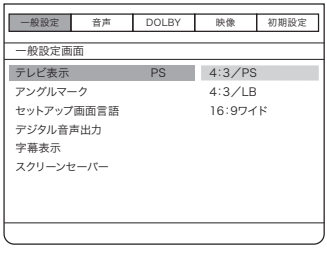
主に本体システムに関わる設定を行います。
以下の項目についての設定の変更が可能です。

テレビ表示	…… P34
アングルマーク	…… P34
セットアップ画面言語	…… P35
デジタル音声出力	…… P35
字幕表示	…… P35
スクリーンセーバー	…… P36

テレビ表示

画面表示の **" 縦横比 "** を調整します。

◎**4：3／PS（パンスキャン）**
横長のワイド映像の一部を切り出し、4：3の画面サイズに変更します。
●**4：3／LB（レターボックス）**
横長のワイド映像を4：3の画面サイズに縮小し、上下を圧縮することで元の比率に戻し上下に黒帯を表示します。
●**16：9 ワイド**
映像を16：9の比率で表示します。

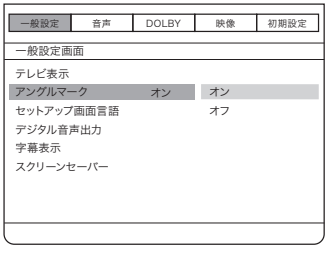


アングルマーク

アングル機能のあるディスクを再生中に、画面上に現れる **" アングルマークの表示／非表示 "** を切替えます。

◎オン
●オフ

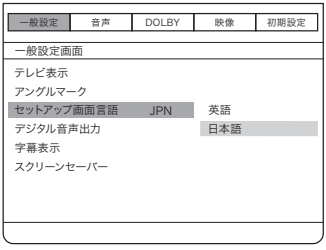
※ディスクの仕様によっては対応できないものもあります。



セットアップ画面言語

本セットアップ画面で使用する **" 表示言語 "** を選択します。

●英語
◎日本語

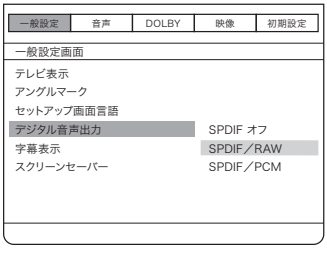


デジタル音声出力

外部スピーカーとの **" 音声出力設定 "** の変更を行います。

● SPDIF　オフ
同軸デジタル対応および 2ch ドルビーデジタルアンプを使用する場合に選択します。
◎ SPDIF ／ RAW
同軸デジタル対応のドルビーデジタル 5.1ch または、DTS 機能搭載のアンプを使用する場合に選択します。
● SPDIF ／ PCM
アナログ音声を出力します。

※通常の音声出力からの接続の場合は設定の必要はありません。

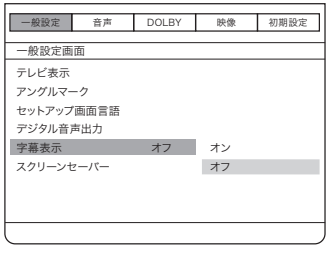


字幕表示

再生画面への **" 字幕の表示／非表示 "** の切替を行います。

●オン…表示
◎オフ…非表示

※字幕設定は再生ディスクの設定画面、または **「サブタイトルボタン」** の操作による字幕表示設定が優先されます。



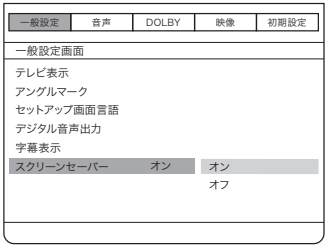
スクリーンセーバー

"スクリーンセーバーの表示／非表示"を選択します。

◎オン
●オフ

「オン」を選択すると、停止または一時停止の状態で**"3～4分間放置"**するとスクリーンセーバーが起動します。また、スクリーンセーバー起動後**"20 分以上経過"**すると自動的に電源が**「オフ（スタンバイ状態）」**になります。

スタンバイ状態から再度ディスクの再生を行うには、一度本体の電源スイッチをオフにし、再度電源をオンにしてディスク読み込みを行って下さい。



▲スクリーンセーバー画面

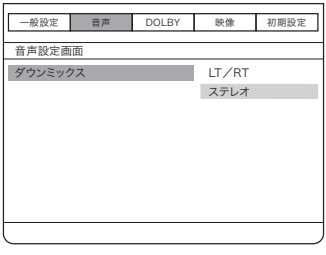
②音声設定

主に音声出力に関する設定を行います。
以下の項目についての設定の変更が可能です。

ダウンミックス …… P37

ダウンミックス

" 出力チャンネル設定 " の変更を行います。



● **LT ／ RT**
…同軸音声出力を使用する場合に選択します。

◎**ステレオ**
…ステレオ出力を行います。

③ DOLBY デジタル設定

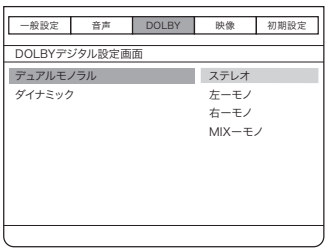
主にデジタル音声出力に関する設定を行います。
以下の項目についての設定の変更が可能です。

デュアルモノラル	…… P38
ダイナミック	…… P38

デュアルモノラル

" 音声の出力方式 " を切り替えます。使用するテレビやスピーカーの仕様によっては対応できません。

通常は **" ステレオ "** を選択して下さい。



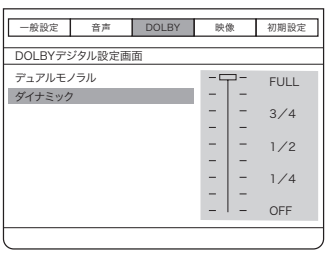
◎ステレオ
●左ーモノ
●右ーモノ
● Mix ーモノ

ダイナミック

DOLBY デジタルで収録されたディスクを使用する際に、音声の強弱の幅を調節することにより**「大きい音は控えめに、小さい音は聞こえやすく」**再生することができます。

◎ FULL
…大音量が抑えられ、人の声（台詞）などが聞き取りやすい状態で出力されます。

● OFF
…ディスクに収録された音源がそのままの状態で出力されます。



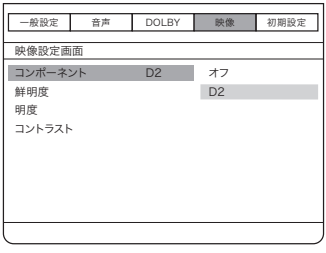
④映像設定

主に画面表示に関する設定を行います。
以下の項目についての設定の変更が可能です。

コンポーネント	····· P39
鮮明度	····· P39
明度	····· P40
コントラスト	····· P40

コンポーネント

" 映像の出力方式 " を切り替えます。映像出力の接続方法に合わせて、切り替えを行って下さい。

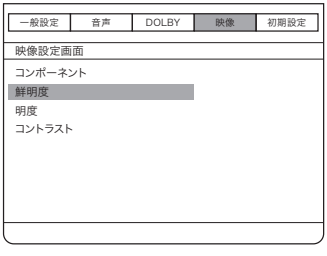


●オフ
…通常のコンポジット出力の場合に選択します。
◎D2
…D2 端子による接続の場合に選択します。

鮮明度

本機では、項目～ **" 鮮明度 "** についての調整は行えません。

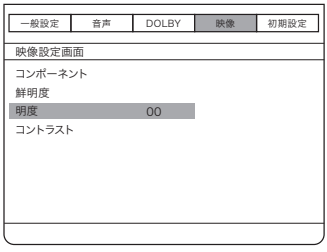
画面表示の調整には、次項の **" 明度 "** 及び **" コントラスト "** を使って調整して下さい。



明度

画面表示の **" 明るさ "** の調節を行います。**「決定ボタン」**で **" 明度 "** を選択後、本体もしくはリモコンの **「方向ボタン」**の **" 左右 "** で明るさの調節を行います。

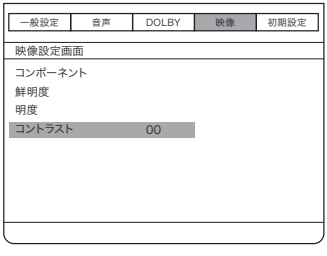
明度は "–20 から＋ 20" の間で調節が可能です。



コントラスト

画面表示の **" コントラスト "** の調節を行います。**「決定ボタン」**で **" コントラスト "** を選択後、本体もしくはリモコンの **「方向ボタン」**の **" 左右 "** でコントラストの調節を行います。

コントラストは "–16 から＋ 16" の間で調節が可能です。



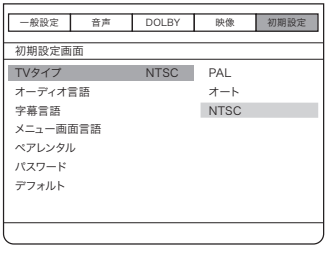
⑤初期設定

初期設定に関する変更を行います。
DVD ドライブが停止している状態でのみ、設定が可能です。

TV タイプ	····· P41
オーディオ言語	····· P42
字幕言語	····· P42
メニュー画面言語	····· P42
ペアレンタル	····· P43
パスワード	····· P43
デフォルト	····· P44

テレビタイプ

" テレビ方式 " の切り替えを行います。日本国内のテレビ方式は **"NTSC"** です。通常は **"NTSC"** を選択して下さい。



● PAL
●オート
◎ NTSC

※異なったテレビ方式を設定していると、映像を適切に表示できないことがあります。

■ PAL 方式・NTSC 方式について

NTSC 方式・PAL 方式とは、国別で分かれているテレビ方式の種類です。世界には大きく分けて 3 つのテレビ方式があり、その中でヨーロッパ各国では主に "PAL 方式 " が採用され、日本やアメリカでは一般に "NTSC 方式 " が採用されています。

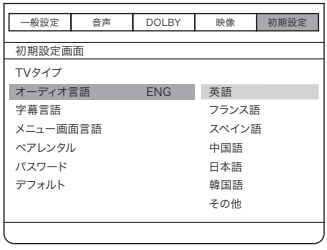
本製品のセットアップメニューの中には、このテレビ方式を切り替える機能があります。日本で使用されるテレビ方式のほとんどは NTSC 方式です。通常の設定は NTSC を選択して下さい。

オーディオ言語

"音声言語"の設定を行います。ディスクメニューの音声言語設定とあわせてお使い下さい。

◎英語　●フランス語　●スペイン語
●中国語　●日本語　●韓国語　●その他

※ディスクの仕様によっては対応できないものもあります。

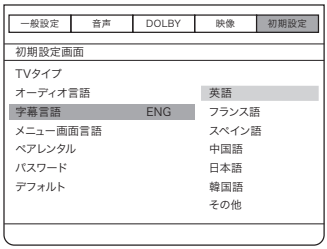


字幕言語

ディスク再生時、**"字幕"**に表示する言語の設定を変更します。

◎英語　●フランス語　●スペイン語
●中国語　●日本語　●韓国語　●その他

※字幕言語は、再生するソフト側の対応状況や設定に依存します。

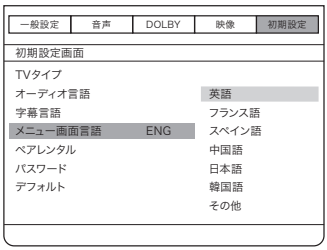


メニュー画面言語

ディスク再生時、メニュー画面などで使用する言語の設定を変更します。

◎英語　●フランス語　●スペイン語
●中国語　●日本語　●韓国語　●その他

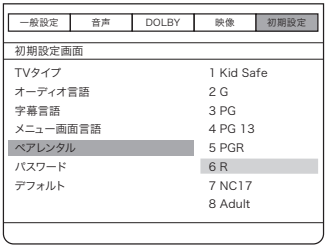
※メニュー画面言語は、再生するソフト側の対応状況や設定に依存します。



ペアレンタル

再生ディスクの**"年齢制限"**設定を行います。設定の変更にはパスワードの入力が必要になります。(初期設定パスワード：8888)
※ディスクによっては対応できません。

1. KID SAFE：幼児がご覧になっても問題ありません。
2. G：お子様がご覧になっても問題ありません。
3. PG：お子様にとって不適切なシーンがあります。
4. PG13：13 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
5. PG R:17歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
6. R：17 歳未満の方は保護者の同伴がない限りはご覧になれません。
7. NC 17：17 歳未満の方はご覧になれません。
8. Adult：18 歳以下の方はご覧になれません。



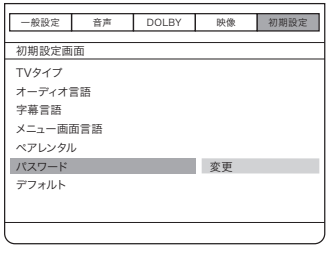
パスワード

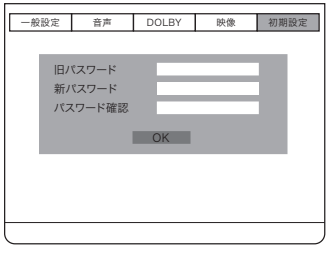
パスワードの変更を行います。**"パスワード"→"変更"**を選択し、**「決定ボタン」**を押すと、右下の"パスワード変更画面"が表示されます。

上から順に、**「数字ボタン」**を使い、4 桁の数字を入力して下さい。4 桁目を入力すると自動的に下の入力欄に移動します。

数字入力が終えたら、**「方向ボタン」**上下で右下図の"OK"を選択し、**「決定ボタン」**で確定して下さい。

※初期設定のパスワードは**「8888」**です。
※次ページの項目"デフォルト"を実行すると、パスワードは初期設定値に戻ります。



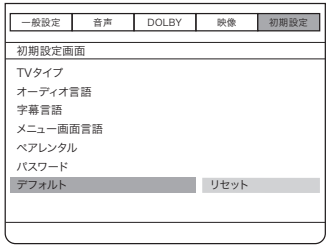


デフォルト

すべての設定をリセットし、**"初期値"**に戻します。

操作は、**「方向ボタン」**で**"デフォルト"**→**"リセット"**を選択後、**「決定ボタン」**で確定します。

※本セットアップ説明ページの図中で"うすいグレー"で選択されているものが各々の初期設定値になります。



第5章

故障かな？ と思ったら

トラブルシューティング

5. 故障かな？ と思ったら

本製品が正常に機能しない場合は、こちらをお読み下さい。故障の原因と思われる内容とその解決方法を確認することができます。また、本ページを確認の上で解決できない場合は販売店、または弊社までご連絡下さい。

起動しない

●コンセントがしっかり接続されているかを確認して下さい（→ P06）。
●プレーヤーの電源が入っているかを確認して下さい（→ P10）。

再生しない

①プレイヤー本体の確認

●ディスクが汚れていたり、傷ついていないかを確認して下さい。
●ピックアップユニットの読み込みレンズ部が汚れ、または傷付いている場合、ディスク読み込み不良の原因になります。慎重にお取り扱い下さい。
●設置場所（温・湿度等の原因）によっては本体内部に結露ができる場合があります。結露が生じた場合はディスクを取出し、１～２時間程度本体電源を入れたまま放置し、再度ディスクを読み込ませて下さい。
●プレイヤー本体が異常に熱く感じる場合は、一度冷却する必要があります。ディスクを取り出し電源を落としてからコンセントを抜き、本体の熱が冷めるまで放置し、再度ディスクを読み込ませて下さい。

②外部機器との接続の確認

●ビデオ一体型のテレビ等に本機を接続すると、映像が乱れて見る事ができません。これはマクロビジョンコピーガードが働いている為です。テレビ側のビデオ入力端子に直接接続して下さい。また、一部のビデオ一体型テレビは視聴中にもコピーガードが働く事があります。詳しくはビデオ一体型テレビのメーカーへお問い合わせ下さい。
●本機はマクロビジョンコピーガードに対応しております。外部出力から他のDVD プレーヤーに接続して視聴する場合、コピーガード機能が働くことがあります。外部機器を取り除き、テレビやモニターと直接接続して下さい (コピーガードされた DVD はビデオに録画することはできません)。

③再生ディスクの確認

●本機にディスクが正しく入っているかを確認して下さい。逆さまに入っていないか、または汚れ・傷ついていないかを確かめて下さい。
● VR モードで作成したものや、ファイナライズを行っていないディスクには対応しておりません。また、DVD レコーダーやパソコン等でご自身で録画・作成した CD-R/RW・DVD-R/RW を使用する際、互換性や記録状態により再生できない場合があり、これらの動作保証と、起因する損害および逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
※レコーダーにはビデオ (DVD-Video) モードと VR モードの記録方式があり、ビデオモードは市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。VR モードはビデオレコーディングフォーマットで、多彩な録画編集機能が特徴ですが、VR 方式に対応した機器でのみ再生可能です。
●本機で DVD-RW、DVD-RAM を再生することはできません。また、PC 用の CD-ROM や DVD-ROM は再生できません。
● DVD-R、CD-R/RW はディスクの特性や記録状態によって再生ができない場合があります。
●本機、及び再生ディスクのテレビタイプの仕様が一致しているか確認して下さい。異なったテレビ方式ですと、映像を適切に表示できない場合があります。通常、日本製ディスクを再生の場合は "NTSC" 方式を選択して下さい（→ P41）。
● DVD プレーヤーとディスクには、市場シェアを守る目的からそれぞれ " リージョンコード " という規格が設定されています。両者の規格が一致していないとディスクを再生することができません。**本製品はリージョン 2 以外のディスクの再生はできません（→ P02）。**

? 画面が映らない

①プレイヤー本体、及び再生ディスクの確認

●本体の電源が入っているかを確認して下さい（→ P10）。
●プレーヤーのレンズ、ディスクが汚れていたり、傷ついていないかを確認して下さい。
●本機、及び再生ディスクのテレビタイプの仕様が一致しているかを確認して下さい。異なったテレビ方式ですと、映像を適切に表示できない場合があります。通常、日本製ディスクを再生の場合は "NTSC" 方式を選択して下さい（→ P41）。
● DVD プレーヤーとディスクには、市場シェアを守る目的からそれぞれ " リージョンコード " という規格が設定されています。両者の規格が一致していないとディスクを再生することができません。**本製品はリージョン 2 以外のディスクの再生はできません（→ P02）。**

②外部機器との接続の確認

●テレビと接続する際､テレビ側の電源も入れ､テレビ側の " 入力切替 " を行って下さい。
●テレビと接続する際、本機とテレビの接続ケーブルが断線していないかを確かめて下さい。断線しているおそれがある場合は接続ケーブルを交換して下さい。
●テレビとプレーヤーの映像端子が正しく接続されているかを確認して下さい。
●テレビの入力、プレーヤーの入力が正しく選択されているかを確認して下さい。それぞれの入力切替で適切な入力モードに合わせて下さい。
●本機の映像出力の設定が適切かを確認して下さい。映像出力が正しく設定されていないと映像は出力されません（→ P39）。

? 画面がかすれる、よじれる、不完全な映像がうつる

①プレイヤー本体、および再生ディスクの確認

●電源が入っている時、プレーヤー側の「停止」ボタンを 3 回押して下さい。完全にディスクが停止してから再度、再生を行って下さい。
●ディスクに損傷、汚れがないかを確認して下さい。
● DVD-R、CD-R/RW はデータの形式等によって正常に再生されない場合があります。日本国内で市販、もしくはレンタルされているディスクを再生し、正常に再生されるかを確認して下さい。併せて、[DVD・CD 再生についてのご注意] をお読み下さい（→ P02）。
● DVD プレーヤーとディスクには､市場シェアを守る目的からそれぞれ " リージョンコード " という規格が設定されています。両者の規格が一致していないとディスクを再生することができません。**本製品はリージョン 2 以外のディスクの再生はできません**（→ P02）。
●本機、及び再生ディスクのテレビタイプの仕様が一致しているか確認して下さい。異なったテレビ方式ですと、映像を適切に表示できない場合があります。通常、日本製ディスクを再生の場合は "NTSC" 方式を選択して下さい（→ P41）。

②外部機器との接続の確認

●テレビ、およびプレーヤー本体の出力方法をもう再度見直して下さい。テレビとプレーヤーの間に他の機器を接続している場合は、その機器を取り除き、直接接続して下さい（→ P06-07）。
●本機はマクロビジョンコピーガードに対応しております。外部出力から他の DVD プレイヤーに接続して視聴する場合は、コピーガード機能が働き映像が乱れることがあります。外部機器を取り除き､直接テレビもしくはモニターと接続して下さい。

③セットアップ画面からの設定の確認

●セットアップ画面から " 初期設定ページ→デフォルト→リセット " を選び、全ての設定をリセットをして下さい（→ P44）。

音が出ない、音声出力が完全ではない

①プレーヤー本体、およびリモコン操作の確認

●本機、およびテレビの音量が上がっているかを確認して下さい（→ P10・12-13・17）。
●イヤホンを使用時には、イヤホンプラグが本体のイヤホンジャック（ヘッドホン出力）に正しく差し込まれているかを確認して下さい（→ P10）。
●リモコンの「消音」ボタンが押されていないかを確認して下さい（→ P17）。
●DVD 再生時、「コマ送り／巻戻し／早送り／一時停止／スロー再生」の状態になっていないかを確認して下さい（→ P18-19・21）。
●オーディオのセットアップが正しく行われているかを確認して下さい。

②外部機器との接続の確認

●テレビや外部アンプとの接続時、テレビと外部アンプの電源が入っているかを確認して下さい。また、音量が上がっているかを確認して下さい。
●テレビとの接続時、テレビとプレーヤーの音声ケーブルが正しく接続されているかを確認して下さい（→ P06-07）。
●テレビや外部機器と接続を行う場合、音声ケーブルが断線していないかを確認して下さい。断線している恐れがある場合は接続ケーブルを交換して下さい。

③再生ディスクの確認

● DVD-R、CD-R/RW はデータの形式等によって正常に再生できない場合があります。日本国内で市販、もしくはレンタルされているディスクを再生し、正常に再生されるかを確認して下さい。併せて、［DVD・CD 再生についてのご注意］をお読み下さい（→ P02）。

④設定のリセット

●これらの項目を試しても、音が出ない場合は " セットアップ画面→初期設定→デフォルト→リセット " を実行し、全ての設定を工場出荷時の状態に戻して下さい（→ P44）。

5. 故障かな？ と思ったら

リモコン操作ができない

①本体、およびリモコンの確認

●リモコンと本体との間に、送受信の妨げになるような障害物がないかを確認して下さい。
●リモコンがプレーヤー本体のリモコン受信部に向けられているかを確認して下さい。

②リモコン電池取付け方法の確認

●リモコンの電池の向き（＋プラス、−マイナス）が正しくセットされているかを確認して下さい（→P12）。
●リモコンの電池が切れていないかを確認して下さい。付属のリモコン用電池は動作確認用になります。通常ご使用になる場合は、別途お買い求め下さい。使用する電池は「ボタン型リチウム電池（CR2025）」です（→P12）。

補足

操作が効かないボタンがある

●再生ディスクによっては対応していない機能もあります。"P15 〜の DVD 再生操作 "、および "P31 〜のセットアップページ " をご覧下さい。

製品仕様

コンパクト DVD プレーヤー　DS-DP105

製品型番	DS-DP105
本体サイズ	133mm（縦）× 168mm（横）× 30mm（厚さ）
リモコンサイズ	95mm（縦）× 52mm（横）× 7mm（厚さ）
本体重量	390 g
電源	DC 9 V（DC IN 端子）
AC アダプター	電源：AC100 ～ 240 V　50 ／ 60Hz
	消費電力：50 ～ 70VA
	DC 出力：9V　2A
消費電力	8W
周波数特性	DVD（PCM48KHz 再生時）：4Hz ～ 22KHz（±1dB）
	DVD（PCM96KHz 再生時）：4Hz ～ 44KHz（±1dB）
	CD：4Hz ～ 20KHz（±3dB）
S ／ N 比	≧ 90dB
歪率	≧ 0.1%
出力端子	映像出力／ D 2 映像出力／音声出力／同軸デジタル音声出力 ヘッドホン出力
テレビ方式	PAL ／ NTSC ／オート
再生可能ディスク	DVD ／ DVD-R ／ CD ／ CD-R & RW
リージョン対応	「2」の DVD ディスク～※ **2 以外のディスクは再生できません**

※製品の外観や仕様は、改良のため予告無く変更する場合があります。
※ CD-R ／ RW、DVD-R を使用する場合はディスクまたは作成されるレコーダー等の互換性により、再生できないものがあります。

製造元

株式会社ゾックス

〒 231-0033　神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13　ルネ関内プラザ 304
URL：http://www.zox-net.com

フリーダイヤル：0120-602-302

お電話でのお問い合わせは、月～金曜日／ 10：00 ～ 17：00
※土・日曜日、祝祭日はお休み頂いております。